

教育民生委員会所管事務調査報告書

【はじめに】

近年、核家族化の進展、女性の就業者数の増加、さらに育児休業制度の充実により出産後も仕事を続ける女性が増加し、保育需要は年々高まっている。

そのような中、市内保育所では、特に低年齢児の入所児童が増加傾向にあり、子どもの入所を希望する親が安心して子どもを預け、働くことができる保育所の環境整備が求められている。

そこで、教育民生委員会では、「保育所」をテーマに設定し、施設の充実、待機児童対策等、「保育所」が抱える様々な課題解消に向けて調査・研究を行い、検討した結果をここに報告する。

【公立保育所の現状と課題】

当委員会では、保育所に関連する法律、条例等の例規の確認に続き、担当部署より各保育所の定員や入所児童数、待機児童、職員の配置状況、保育料の算定方法、施設の状況等について詳細な説明を受け、その後、市内の公立保育所9園の現地視察を行い、現状把握に努めてきた。

さらに、保育所の管理者である園長、また実際に保育所を利用している入所児童の保護者から、それぞれの立場での率直な意見を聞くため、意見交換会を開催した。

1. 入所児童数の現状

公立保育所9園の内、6園が定員を上回る児童を受け入れており、中でも延長保育を実施している和田保育園、人口が多い地区にある川崎南保育園は、それぞれ136.3%、120%とかなり高い入所率となっている。

一方、関保育園、加太保育園は、それぞれ68%、35%の入所率となっており、保育所による差が大きいといえる。

また、県下14市中、保育所に入所できない待機児童が存在するのは、2市のみで、その内ほとんどが本市の待機児童である。

2. 施設の現状

公立保育所9園の内、昭和40年代の建築が2園、50年代の建築が4園と古い保育所が多く、耐震化工事が必要な施設は工事が全て終了しているとはいえ、全体的な経年劣化は進んでいる状態である。

また、保育室が不足している保育所が多く、遊戯室を保育室として使用するなど既存施設の改修で対応しているほか、園庭も狭く、運動会の開催には支障がある。

さらに、駐車場が全体的に大きく不足しており、進入路の道路幅員も狭く、送迎時間帯には大変混雑し、危険なところが多く見られる。

3. 職員配置の現状

保育士の数は、人力的には児童数に対し国の基準は満たしているとはいえ、保育士、給食調理員等すべての職員を合わせて職員49人に対して非常勤職員135.5人と、非常勤職員が圧倒的に多く、また、非常勤職員が低年齢児の担任を持たされている園が多く見受けられる。

4. 意見交換会で出された主な意見

(1) 園長会

- ・保育士の人数は国の基準を満たしているが、非常勤職員が多い
- ・0、1、2歳の入園が増え職員の配置を要望している
- ・駐車場が不足している
- ・夏季の暑さ対策に苦労している

(2) 保護者会

- ・園舎、園庭が狭く、保育室も不足
- ・保育士が少ない
- ・定員より入所児童が多い
- ・施設の老朽化
- ・駐車場不足、駐車場の未舗装
- ・保育所への進入路が狭い
- ・兄弟での受け入れがしてもらえなかった
- ・他の保育所、幼稚園との格差

5. 保育所が抱える課題と今後の方向性

多くの保育所が、定員を上回る入所率となっており、遊戯室を保育室に改修するなど既存施設の改修で補ってはきているが、それも限界に来ている。

また、それでもまだ受け入れられない待機児童が発生しており、本年度、待機児童緊急対策施設整備事業が予定されているが、対象施設は園庭や給食面などに課題があり、あくまで緊急避難的な事業として捉えるべきであり、多様化する保育ニーズに見合った計画的な施設整備が早急に必要である。

さらに、各保育所とも非常勤職員が非常に多く、大半が短時間勤務であることから、職員間のコミュニケーション不足や保育の継続性が失われるなど懸念もあり、職員として保育士数を充足させ、保育サービスの質の向上に努める必要がある。

そこで、以上のような課題を解決するためには、保育所によっては移転も視野に入れた計画的な施設の改築・改修、また正規の職員の補充が不可欠であり、その施策は急務と考え、次のとおり市長に対し提言を求める。

記

1. 早急に各保育所の移転も視野に入れた改築・改修の年次計画を立て、その整備を進めるとともに、駐車場、通園路等の周辺整備を図り、保育環境の充実に努めること
2. 保育士については、正規の職員を増やし、職員のモチベーションを高めるとともに保育の継続性を確保するなど、保育サービスの質の向上に努めること
3. 待機児童対策については、施設及び人員の両面から保育所の定員の拡大を図るなど抜本的な待機児童の解消に努めること
4. 延長保育実施保育所の拡大、土曜日の午後保育及び病児保育の実施など、多様化する保育ニーズに見合った施策を講じること